

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成27年2月23日

中国運輸局

評価対象事業名：離島航路運営費等補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県離島航路 確保維持協議会	(有)阿多田島汽船	阿多田～小方航路	釣り大会や花火クルーズ等のイベントにより増収を図った。経費削減については、船舶修繕費は定期検査時期のため削減はできなかったが、船舶消耗品や保険料等について削減した。	A	B	引き続き、島内人口が減少傾向にあるため島のイベントによる増収を図るほか、船舶修繕費等の経費削減に努める。	各航路において概ね目標の運航回数を達成しており事業は適切に実施されていると評価できる。今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	
	走島汽船(有)	走島～鞆航路	観光促進について、釣り客は増えつつある。経費削減については、船員削減もままならず、削減は実施出来ていない。	A	B	観光促進や定住促進については、島民と共に努力していきたい。また、平成27年度から学校廃校により利用数減少は避けられない見通しである為、運営形態の改善も検討していきたい。		

評価対象事業名：離島航路運営費等補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県離島航路 確保維持協議会	備後商船株	常石～尾道航路	検査工種の種類の違いにより、200万円程度の修繕費圧縮となったが、船体の老朽化により部品交換の頻度が増加している。	A	B	①フェリーびんごの老朽化による維持補修費を軽減するため、廃船処理し、新たに尾道市により公設民営方式にて新造フェリーを建造し投入する。バリアフリー化と二基二軸による操船性のアップ、車両の乗船時の容易さの改善に努める。 ②新造船の投入により、船舶検査の省略、消耗船具の経年劣化によるコストアップの節減に努める。	各航路において概ね目標の運航回数を達成しており事業は適切に実施されていると評価できる。今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	
	尾道市	細島～西浜航路	船舶修繕費、船員費及び賃借料については、計画に比して抑制することができた。	A	B	引き続き、船舶修繕費等の経費削減に努める。		
	大崎上島町	白水～契島航路	船舶修繕費の抑制及び、燃費の向上化のために、新船の建造に着手した。	A	B	新船の運用により、適正規模での運航を図ることで、船舶の軽量化に伴う燃費の向上と、船舶修繕費の抑制に努める。		
	齋島汽船株	齋島～久比航路	船舶修繕費については、前年度と比較し約207万円減少した。	A	B	島内人口が減少傾向にある中で航路を維持していくため、引き続き船舶修繕費等の経費削減に努める。		

評価対象事業名：離島航路運営費等補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県離島航路 確保維持協議会	呉市	三角～久比航路	故障による大規模修繕の発生を未然に防ぐため、船員による定期的な点検等を行った結果、H25年度定期検査後の一般修繕費が削減された。	A	B	島内人口が減少傾向にある中で航路を維持していくため、引き続き、船舶修繕費等の経費削減に努める。また、近接する齋島航路を運航する齋島汽船株式会社と運航主体を一元化(齋島汽船へ事業譲渡)し、経営の効率化を進めていく。(実際日：平成27年4月1日)	各航路において概ね目標の運航回数を達成しており事業は適切に実施されていると評価できる。今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	萩海運(有)	見島～萩航路	島の人口減少に伴い、毎年、島民の利用者が減少する中で、航路を維持するために、各島で実施される魅力的かつ島ならではのイベント行事に参画、協力して島外者を誘致し、利用客数の増加を図る取組みを行った。 修繕費等の経費削減については消費税の増税もあり、あまり良い状況ではない。	A	B	引き続き、燃料単価の動向を注視するとともに、日々の点検を積極的に実施する等、修繕費等の経費削減に努める。また、Facebook等を活用して情報発信を行い、航路利用の促進を図る。	各航路において概ね目標の運航回数を達成しており事業は適切に実施されていると評価できる。今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	

評価対象事業名：離島航路運営費等補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	大津島巡航(株)	大津島～徳山航路	島内公共交通の拡充を進め、これに併せて平成25年10月より、1日9便を7便に減便して経費の節減を図った。	A	B	島の過疎化、高齢化に伴い、毎年利用者が減少している中で、航路の維持拡充を図るため、使用船舶や寄港地の集約等、効率的な運航体制の構築を推進する。併せて、交流人口の拡大による利用客の増加を図るため、市や関係機関と連携してイベントの開催など離島振興のための施策事業に取り組むほか、Facebook等を活用した情報発信を継続する。	各航路において概ね目標の運航回数を達成しており事業は適切に実施されていると評価できる。今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	
	(有)野島海運	野島～三田尻航路	野島フォトコンテストやドック入りを活用したクルーズなどの航路活性化イベントを開催し、島で行事が行われる際は臨時便の運航を行い利用者の増加を図った。	A	A	島の過疎・高齢化に伴い、毎年利用者が減少傾向にある。航路を維持するため、地元自治会及び自治体と連携し交流人口の増加を図り、クルーズ事業やFacebookでのPR等を通じて利用実績の確保に努める。		
	岩国柱島海運(株)	岩国～柱島航路	運航経費の節減や地域関係者らとの連携により航路の確保・維持を図った。	A	A	島の高齢化により利用者が減少しているが、島のイベント・レジャー資源等を活かした利用促進を図る。また、Facebook等を活用して情報発信を継続する。		

評価対象事業名：離島航路運営費等補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	牛島海運(有)	牛島～室積航路	利用者数は減少したものの、 公民館等との連携による不 定期航路事業への取組みに より、貸切便運航料収入が 増加した。	A	B	島の過疎・高齢化に伴い利 用者数が減少する中で、航 路を維持するためには、観 光協会や公民館等との連携 による不定期航路事業への 取組みやFacebook等を活 用した情報発信等により利 用促進を図る。 また、船舶修繕費等の経費 削減に努める。	各航路において概ね目標の 運航回数を達成しており事 業は適切に実施されている と評価できる。今後も運航 経費の削減や地域関係者等 との連携等を行うことによ り離島住民の生活に必要な 航路の維持・確保が図られ ることを期待する。	
	平郡航路(有)	平郡～柳井航路	島の過疎・高齢化に伴い、 島民による毎年の利用客数 が減少するなか、島外民間 企業の平郡島特産品開発に 伴う航路の利用促進を継続 的に図っている。 航路運航に際しては、燃料 の高騰による経費増加はあ るが、船舶航行の負担軽減 や日常の整備等に心がける ことで船舶修繕費等の経費 節減に努めている。	A	B	島の過疎・高齢化に伴い、 毎年利用客数が減少するな か、島民の唯一の交通手段 である航路維持のため、 Facebook等の活用による 観光客の誘致を図るととも に、地元関係者と協力し島 民関係者の利用促進を図 る。 また、経費の増加を抑制す るため、日常点検、整備等 に心がけることで、船舶修 繕費等の経費節減に努め る。		
	周防大島町	久賀～前島航路	毎年利用者が減少する中、 観光協会と連携しスナメリ ウォッチングやクルージング などの誘致活動を行っている。	A	A	今後も観光協会と連携し、 Facebook等も活用しながら、 スナメリウォッチングやク ルージング等の観光客増加 に努めていく。		

評価対象事業名：離島航路運営費等補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	周防大島町	情島～伊保田航路	毎年利用者が減少する中、 航路を維持するため、釣り客 の増加に向けて、町ホーム ページ等を通じて釣り情報の 発信に努めた。	A	B	情島へ渡る業者(所有船)も 高齢化し廃業していくため、 業者に替わり荷物の運搬の 増加を図っていく。 また、Facebook等も活用し、 釣り客等の利用増加に努め ていく。	各航路において概ね目標の 運航回数を達成しており事 業は適切に実施されていると 評価できる。今後も運航経費 の削減や地域関係者等との 連携等を行うことにより離島 住民の生活に必要な航路の 維持・確保が図られることを 期待する。	
	周防大島町	樽見～日前航路	体験型修学旅行の誘致活動 を行った。また、観光客等の 利用者の増加を図るため航 路専用駐車場の拡張工事を 行った。	A	A	平成27年度に「ひらい丸」の エンジンのオーバーホールを 予定しており、修繕費が増加 する予定であるが、これを補 うために、更なる体験修学旅 行や観光客の誘致に努め増 収を図っていく。		
	上関町	八島～上関航路	経費削減のため入札等を行 い努力をしたが、燃料費の高 騰により改善できなかった。	A	B	島の過疎、高齢化に伴い毎 年利用者が減少する中、航 路を維持するためには、燃料 潤滑油等の経費削減に努 め、Facebookを活用するな どの情報発信を行い、利用促 進を図る。 また島内イベント等を行い島 の活性化を図る。		
	上関航運(有)	祝島～柳井航路	イベント等の開催は行わな かったが、利用客の大幅な 減少は防げた。	A	B	地元関係者と協力し、 Facebook等も活用して、観光 客の誘致を図るとともに、船 員費、船舶修繕費等の経費 削減に努める。		

評価対象事業名：離島航路運営費等補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	熊南総合事務組合	馬島～麻里府・佐 合島～佐賀航路	通常利用者は減少傾向にあるが、島でのイベント等を活用することにより利用者の増加を図っている。また、経費削減を継続しているが、限界に近い状況である。	A	B	島の過疎・高齢化に伴い、通常利用者が減少していることから、航路を維持するためにイベント等の活用やFacebook等での情報発信を行いながら利用者増を図る。	各航路において概ね目標の運航回数を達成しており事業は適切に実施されていると評価できる。今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	
笠岡市離島航路 確保維持協議会	三洋汽船(株)	笠岡～飛島～六島 航路	運航経費の削減に努め、安定的な航路の維持を図った。	A	A	島しょ部住民の高齢化や人口減少が進む中、今後も引き続き、運航事業者と行政が連携を図りつつ、島しょ部のイベント等の活用や情報発信を行い、島外利用者の誘致によって、航路維持を図る。	本航路においては目標の運航回数を達成しており事業は適切に実施されていると評価できる。今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	